



陣中想話 (四)

平町出身 歩兵第十九聯隊 水野重光 第三中隊 種胡瓜「カデリ」の巻 部落より部落へ新聯隊長 殿は非常な強行軍だ流石一 九三二年式でモダンだ行 軍までハイスピードだ。疲 勞して居るものはキョ...

な胡瓜畑を目掛けて一目散 胡瓜畑は見る間に、押すな くの大賑へ喜んで歸つて 来る兵の手にはやつと持つ 様な大きな種胡瓜ばかり見 る。部落の種胡瓜はメチ ヤ。だ。強兵日本軍隊の 行く所匪賊と種胡瓜は片端 から掃蕩せられ行く。

一粒の飯に病かぬ秋蠅湖 白壁の日向やほつこや秋のはい 西日さす障子の棧や秋のはい 障子貼るはけにうさし秋の蠅 印の目をたつる日向や秋のはい 病床の窓にひたつく秋の蠅 秋の蠅の壁に羽根重く 日溜に終日去らす秋のはい

高月會句抄 (九)

湖晴 芝草 芝草 天仙 天仙 耕影 耕影 閑月

下士官室の僅かな隙間を見 てその中にもぐり込んで休 んだ。翌晩小棟特務曹長と 共に寝たが依然猛烈なる南 京虫の襲撃を受け耐え切れ ず浅井少尉の室に退却した 會津二百萬石の城主渡邊陸 奥守勝利將軍遂に南京虫の 猛襲に堪へ兼ねて退却に決 心す。

【朝】鹽引 ねぎの卵の花 汁 【晝】かながしら(又はほ うぼう)付焼ききや うごぼう 【晚】ほうれん草 ごまび たし

居る時の事であつた。九月 九日夜、中隊長は『おんど る』上に安らかな眠りに就 いた。間もなく頭すぢ手首 あたりをこそくと這ひ廻 るものがあつた、燐寸をす つて見れば何時しかその姿 を消して何者も見えぬ、眠 らんとすれば又出て来る、 中隊長は終に隣の准士官室

出動第一夜に於て襲撃せ られ退却せりなどと發表す るは日本軍の恥辱なり口外 すべからず。お内しよ。 お内しよ。

平 町 二 丁 目 三 井 一 シ ク タ 井 三 電 話 五 八 六 番

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

平町新川端(釜屋新宅向) 内科 醫學博士 難波 陸 電話五〇二番

高價買入—金、銀、債券 安價販賣—時計と眼鏡 親切勉強—時計のお直し 星野時計店 平驛前通り

科人婦。科外 院醫坂井 町田町平 番九五五話電 平驛前目抜の場所 三階建一棟七十坪 家賃其他委細面談 平町五丁目吉田屋染物店方吉野へ

漆器も需要季に入り俄然暴騰致しました 絶好無二の御買時 在庫品見越買附品豊富 平素ノ御引立ヲ衷心ヨリ感謝シ 大奉仕精神ヲ徹底セシムベク 在庫品全部ノ 從前値段販賣ノ一大奉仕 がお正月の御用意お屠蘇具が 種々入荷致しました。 専門漆器平町に只一軒の...

吉田眼科病院 平町南町 電話六八番

中村齒科醫院 平町鍛冶町七

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

失業群一千名

欠食兒童二百餘に及ぶ

慘憺たる内郷村の昨今

救済対策を確立

平町を始め郡内各町村では目下匡救土木事業による失業者の救済に全力を注いで居り各地とも相當救済の實を上げて

失業業者や 貧農階級を潤はしては居るが内郷、好間、湯本、磐崎、赤井等の炭礦地帯は炭界の失業労働者の密集して居る割合に匡救事業も期待された程の進行を見せず依然として失業苦と生活難の重壓から救ひ上げられて居らず殊に内郷村の如き餓えと寒さの恐怖から脱れやうと血みどろにひしめき合ふ失業群は實に二千餘名欠食兒童二百餘名と言ふ驚異的の慘憺たる數字を示して居り此等失業業者群が

求めて右往左往する様は全く生地獄の觀あり村當局でも此の慘狀を救ふべく種々苦慮してゐたが此の程村有志村議の聯合協議した結果さし當り村内有志からの寄附を募集して哀れな欠食兒童に一食四錢程度の食料を供給欠食の慘狀から救ひ上げる一方匡救事業の計畫炭礦への就職斡旋等による失業者の大量救済に努める事になつた

野犬一頭廿錢也

狂犬豫防デーに

平署が買上げる

平警察署では来る十日より一週間催される縣下狂犬豫防デー期間中全管内に宣傳ポスターを配布し各學校町村役場には『狂犬病に就いて』と題するパンフレットを分配狂犬豫防の徹底を期する事となつたが尙野犬の一掃を行ふ爲め期間中は野犬一頭廿錢の割で買上を行ふと

製氷社長に

木村氏就任

平親水株式會社では去る卅

日株主總會を開會し利益金の四千三百二十圓を承認後社長の改選を行つた結果木村清治氏が新社長に當選した

輝く王座を

華々しい打撃陣

磐中平商共に意氣込む

最後の戦

磐陽球界今シーズンの王座を目前に磐中平商兩軍が覇權を賭ける最後の戦

々四日午前十一時半から磐球場に決勝の幕が切つて落される今春の覇權を死守

下小川の工事

石城郡下小川村字柴原地内村道の匡救土木工事は昨日より着工一日百餘名の労働者を使つて本月下旬には竣功する

白水川は

石城郡内郷村字白水地内白水川の河川改修工事は匡救土木工事として昨日より着工したが工費は一萬圓で年度内に竣功せしめると

けふ内務省から

査定官が來郡し

郡内の災害工事下調査

石城郡下各町村の災害復舊縣補助金十二萬四千八百六圓の交付申請に對して是れが調査の爲め内務省の西事務査定官の一行は昨夜來平本日小林平土木監督所長の案内で江名、豊間、小名濱平の被害現場を視察したが本日午後七時には同省の技術査定官佐藤技師の一行が四倉町に到着明日各被害地を視察すると

女師範生來平

女子師範學校教生三十八名

は今日二日堀部教諭及び大堀訓導引卒の下に平着午前八時三分にて來平第二第三兩小學校を見學湯本町に一泊するが明日は内郷第二を見學歸校すると

唱歌教授視察

本縣視學委員師範學校教諭清野健氏は唱歌教授視察指導の

られる以上餘程の好投を續けない限り磐中軍の健棒に壊滅の憂目を見ないと何人も保證出來ず石坂打たれ杉浦またさして威力を示さざる磐中投手團の悩みと對比して兩軍共に其の打棒に頼るより外に道なく今次決勝の一戦は物凄くも華しい一大打撃戦を展開するであらう事象想される

良い寫眞!

最新式設備

新しい技術

寫眞館 サクラ

平町田町驛前通り

出賣大服供子三五七

- ◇ 女 兒 服 色セル 二・一〇〇ヨリ
- ◇ 男 兒 服 ビロード 二・三〇〇ヨリ
- ◇ 男 兒 服 スコッチ 一・九〇〇ヨリ
- ◇ 男女柄オーバ 茶セル 三・四〇〇ヨリ
- ◇ 男女柄オーバ 二・〇〇〇ヨリ
- ◇ マルトンオーバ 二・六〇〇ヨリ

店服洋やかふ

爲め來る十三日より一週間石城郡内各小學校を巡回することになつたが日程は左の如くである

十三日赤井第二 十四日平第二 十五日澤渡 十五日四倉 十七日草野 十九日湯本 二十日植田

水難 義捐金

(拾圓)白川屋材木店 丸上材木店(五圓)實川醫院 草野七五三之助 岡田千藏 菅本庄治(三圓)藤屋 果實店 小鍛冶兼吉 三九二タクシー 岡田政次 郎 金成醫院(二圓)星眼科醫院 正礼堂洋服店 菅野屋商店 平松均子

平町人事

△四軒町一五 阿子島繁雄 氏四女澄子 回 死 亡 △六間門一六 相川清作 (三三)

インフレ來の景氣に

黄金時代を再現か?

炭礦が素晴しい活氣を見せ 俄かに事業の擴張を計劃し 求人申込殺到

津浪の様に突如として襲來したインフレ景氣に煽られ、昨今の常磐炭界一圓は大炭礦無論の事個人經營や斤先堀りの群少炭礦まで素晴しい活氣を見せて居る。

數十萬噸の貯炭の山

が崩れたのも束の間坑口附近に撒散したる粉炭までヌツカリ姿を隠すと云ふ此處數年來見られなかつた豪勢さに踊り上り今までの緊縮整理一点張りの消局策を一擲して俄かに事業擴張を計劃するもの續出、今二日の午前中平町職業紹介所に坑内

労働者の求人申込

んで來たものだけで勿來町の大日本炭礦の五十名を筆頭に内郷磐炭坑十名、赤井村福島炭礦の十名、合計七十名をこれに加へて是れも又昨今熱を出した若林製糸浪江工場から女工三十名、兩毛製糸桐生工場から女工十名等總計百十名に達して居り紹介所も轉手古舞ひだりが勿來大日本炭礦の如きは募集労働者の日給一圓七十錢内外と言ふ高賃銀で然も請負制度だから腕がよけれ

ば二、三圓の稼も出來るとあり大戦前後の黄金時代を再現したかと思はれる程の好況來て内郷好間湯本等

求人申込殺到

に密集してゐる炭礦労働者の失業群も此のインフレ景氣で救ひ上げられるだらうと喜ばれてゐる

校長先生が

局長さんに

平第二校の面白い試み

校内郵便局を開設

平第二小學校では一般常識として最も必要な手紙の書き方や書簡の体裁等郵便智識を全校の児童に普及させる爲め今二日から校内の要所五ヶ所に郵便ポストを設置津田校長が局長格で五年の女生徒全部が配達係りになり校内郵便局を開設A子さんからB子さんへ生徒から先生への郵便實習を開始した

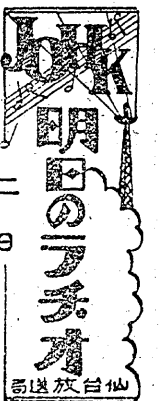
暮れた！師走だ！

道路が狭いッ

のけろ邪魔物！

平署の交通防害取締

あはたしい足取り、暮れだ！師走だ！一九三二年のゴールがもう目の前に迫つて平町の街頭は歳末氣分が渦巻いてゐる歳末賣り出し



今晚も明日も北東の風晴れ

今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間)
- 後七、三〇 講演 陸軍參典官石井三郎
- 後八、〇〇 日高祭禮囃子
- 岩手縣水澤町
- 後八、三〇 俗曲獨奏加藤新水

明日の部

- 後九、〇〇 忠臣蔵花暦清元「道行旅路花笠」清元正太夫外
- 後九、三〇 全盛ニユース氣象通報 番組豫告
- 前九、一〇 料理献立「豚肉生姜焼」宮城縣食肉協

禁漁區で

底曳の網 罰金處分さる

石城郡四倉町字新町四十七番地漁業雨澤龜吉(三)は本年九月十日同町渡邊辰治(四)所有の石油發動機船善寶寺丸に船長代理として乗込底曳網漁業禁止區域の宮城縣桃生郡宮戸沖合に於て底曳網を使用し鯉約三十貫を漁獲した爲め機船底曳網漁業取締規則違反として各罰金二十圓宛に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

遭難船の漁夫か

小名に屍体漂着

石城郡小名濱町西町海岸に昨日午後五時頃年約三十才前後の腐爛屍体が漂着したのを通行人が発見警部補派出所に届出たので係官が出張検視したが身元判明せず多分遭難漁船の乗組員であらうと遺族に照會中である

喜樂丸の

乗込員と判る

別項小名濱の漂着屍体は江名濱喜樂丸乗込漁夫山形縣生れ佐藤仁平次(三)と判明した

奥の間から

五十圓窃取

石城郡山田村字小山田雜貨商大河原タツ(九)方に昨一

珠算競技

平第一校にて

平第一小學校にては來る十九日第十四回珠算競技會を開催する

忘年會を

催さぬと

平町各小學校にては時節柄本年は忘年會を催さぬ事に申合せた

- 前一〇、三〇 婦人講座「平安朝女性の典型として」の更級日記の作者」磯部貞子
- 後二、〇〇 講演「日」本婦人と、其の社會的活動」文學博士 中村孝也
- 後二、五〇 運動競技「慶應對帝大ラグビー試合状況」
- 後四、二〇 講演「ラヂオ調査の結果に就て」(終) 逓信省電務局業務課長田村謙治郎
- 後五、〇〇 受驗講座「英

古川組頭逝く

石城郡入遠野村消防組頭古川靜可氏は自宅で病氣療養中昨日死亡したので來る六日同村圓福寺に於いて葬儀を舉行すると

平職業紹介所報告

- 求人を求める方
 - △商店雜役 十七才 尋卒
 - △賣子 三十才以下 尋卒
 - △賣上の二割給(平町某)
 - △トラック助手 二十三才 尋卒
 - △月六圓(小名濱町某)
- △外交員 四十才 高卒
- 給料面談(平町某)
 - △回職を求める方
 - △給仕 十六才 高卒 給料面談(相馬郡某)
 - △事務員 二十七 高卒 給料面談(新潟縣某)
 - △小使 五十一才 高卒 給料面談(内郷村某)
 - △農夫 二十五才 農校半退給料面談(茨城縣某)
 - △コック見習 十八才 高卒 給料面談(平町某)

義経

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百十四席 平手造酒

犬に變つたわけ

磯右衛門は藤次に向つて
磯『どうして人の骨が犬になつたか永く月日がたつと人は皆犬になるものかな』
藤『馬鹿なことを云ひなさるな何百年たつとも人は人だ犬になる譯が無い』
磯『それでもあの骨は犬だぜ』

藤『あれは犬の骨だ、埋たは犬だ、して見れば犬の骨になつて現れるはあたりまへだ』
磯『へー俺が殺したあの與之助は犬の化物か』
藤『そんなものでは無い、あれは名主様の悴さ處で兄貴どうして人が犬になつてゐたといふにそれにはかういふ理窟があるんだ、お前さんが與之助を殺して館山の役所に訴へて出ると云つた時に俺が止めて、此死骸を海に流せば汐に浚はれて行き、果ては鮫の餌食になると、かう云つてあの死骸を背負ひ出し海へ投げ込まうとした時に出遇つたはあのお定だ』

磯『ウン娘に逢つたか』
藤『お前の所から預つて俺が世話をしてゐたお定の歸りが遅いからどうした

ことかと思つて来たその途中の事、其の時お前さんが名主様の悴を殺した事と、又話した處がお定が云ふには今は干潮であるから汐が上げると沖からこの死骸を岸に持つて来るさうなれば濱



方の者の目にかゝり名主様の悴と云ふことが判る、御検視が下りて調べれば體に傷のある事も知れ、それでは打殺されて海に投込まれたものであらうと嚴しくその下手人を尋ねるに相違ない、さうなつてはお前さん

は無事で居られないそれ故これは埋た方がよい、其の埋める場所は自宅にある柿の木の下がよい、又埋める時には與之助さんに見せて犬を埋めて置くがよいなせさうすると云ふに阿母さんは心立の良くない人だから阿父さんの氣に逆らふ様な事をして後には與之助さんを殺した事をお役人に云ふであらう、それだから人と犬と取替て埋て置くがよからうと斯う云つた、俺はお定の智慧に吃驚した、そこで與之助さんの死骸は山へ持つて行つて埋め犬を一つ頭殺しをいつを擔いて歸つ

つて居る、果してお定の察した通り髮結の利助と悪い事をして金をさらひ飛び出し、三年目に歸つて来てお前の所へ金を借りに来たそれはお前の悪事を知つて居る爲、果ては役人に知れて死がいを掘起したが人が犬になつてゐるからお前さんが下手人とは思はない、これは皆お定の工夫で出来た事だ』
聞いて磯右衛門びつくりして

磯『ウンそれでは死がいを變へて置いたか何故俺にその事を知らせなかつた』
藤『それだ、話をしようと思つたが知れずにはしまへばこんな芽出度いことは無いなまじこんな事をお前さんに知らせると心が緩む、それが爲に却つて人殺しをした事が知れることにもなるさうなつてはお定の心盡しも水の泡、まア、黙つて居る方がよからうとそれで今日まで、何も云はなかつた』

磯『さうか、アア持つべきものは子だ、お定の爲に助かつた彼娘がこの家を出てゐるもおしんが邪堅にした故、さうさしたは俺がおしんに迷つた爲め、どうぞお定を歸してくれ』
藤『それでは明日にでも伴元を洗へば他人だせ、縁を切れば頼みにはならぬえ糸うり蔓切つてしまへばその水、親子とは違ふぜ』
磯『ウンさうだ、油断は出来ぬえ』

と笑つた、磯右衛門はお定を招んでその才覚で助かつた禮を申して一層是から愛しました、此お定の賢き處に惚込んだが洲の崎村の政右衛門といふ漁師、そこで悴の政吉にお定を嫁にほしいと申し込んだ、磯右衛門が考へたには政吉は親孝行、親に孝行する程のものは女房にもやさしいであらうと思つた。

七五三御祝
小供靴大賣出し
△新型實用用品
底革表 七〇より
各種豊富
△小供ゴム長靴 四〇より
御進物にゼヒ
大塚製靴部
田町・電話七七番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
腸胃病 腸性病
院醫科 村松
〇七一話電

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
子宮あたゝめぐすり
宮 温 湯
丹波博士創製セキドメ
たんばあめ
靈藥ムテキ
阿康藥舖
平町古銀治町一〇
縣社ノ下 電四四番

酒場戦線異状あり
カフェーセカイの
ダブル ウルトラスービス
御來店の皆様にモレナク
紫煙の香ゆかしきパット奉仕進呈
平一
カフェー世界
電 46

毎度御ひいき
有難ふ御座ります
うなぎの御用命は
うなぎの奴
平町田町(電話二二番)
ホール御座敷の設けがります。皆様の御立寄を!!